

## 県に5分野12項目を要望 佐竹知事との懇談会



12月6日(月)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、佐竹秋田県知事と本会役員による懇談会を開催しました。

冒頭、藤澤会長から佐竹知事に懇談テーマをまとめた要望書が手渡されました。

開催にあたり、藤澤会長は「県内の多くの企業では依然として先行きが見えない状況が続いており、収入の確保や雇用の維持に大きな不安を抱えているが、県においては雇用維持支援金の給付やコロナ対策としての経営安定資金制度、商店街や飲食店等をはじめ各業界の支援策を講じていただき、改めて感謝申し上げます。本会では、組合等を通じて県内企業の振興・発展につながるよう取り組んでいるところであり、今後とも本会の活動に対してご理解とご支援をお願いしたい。」と挨拶しました。



〔挨拶する佐竹知事〕

一方、佐竹知事は「本県は再生可能エネルギーや木材、食料などの資源に恵まれており、地元がその経済効果の恩恵を受けるには、中小企業の連携の他、共同事業の実施により組合の強みを発揮することが必要である。秋田に合った予算を組み、様々な面で皆様と協力しながらこの難局を乗り越えていきたい。」と挨拶しました。

懇談会では、藤澤会長をはじめ、役員より下記の5分野12項目についての要望を行いました。



〔要望書を手渡す藤澤会長(左)〕

### 1. インフラ整備

- (1) 県内高速道路の早期完成と主要幹線道路等の整備について
- (2) 奥羽・羽越両新幹線の実現に向けた整備促進及び秋田新幹線トンネル整備(赤沢～田沢湖間)の早期実現について

### 2. 中小企業組合・中央会等に対する支援の拡充

- (1) 中小企業連携の専門的支援機関である中央会に対する商工団体組織活動強化費補助金の確保及び強化について

### 3. 「中小企業振興条例」に基づく産業支援

- (1) 新型コロナウイルスによる倒産・廃業防止に関する中小企業支援施策の継続推進と県内産業の持続的発展に必要な支援の拡充について
- (2) 新型コロナウイルス対策等中小企業支援施策に関する年度を跨いだ実施について
- (3) 中小企業が連携して実施する展示会等への共同出展及び共同販売に関する事業への支援について
- (4) 人材確保を目的とした業界PR活動等の実施に対する支援について
- (5) 地場企業に対する支援強化について

### 4. 官公需関連

- (1) 公共工事の早期発注とゼロ県債の拡大等による一層効果的な発注平準化施策の推進について
- (2) 地元中小企業・小規模事業者の受注機会拡大の措置と市町村への働きかけについて

### 5. 外国人材の活用等について

- (1) 外国人労働者の特定技能在留資格に関する産業分野の拡大の国等への働きかけ及び外国人材の活用に関するサポート支援強化について
- (2) 外国人技能実習生の資格試験における会場確保等について